

# 3

## CSR 行動原則に基づいた取組み

# 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

### Plan 2013年度の基本方針

- 地域事情・特性に応じた地域社会への貢献、活性化のための取組みを、地域のみなさまと共に進めていきます。
- 従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、引き続き情報発信をおこなっていきます。

### DO

- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ■スマートコミュニティ構想などの実現に向けて…………… P58 | ■地域のみなさまと連携した清掃活動…………… P59       |
| ■大阪都心部のまちづくり活動…………… P58         | ■地域の伝統文化保護・行事への協力…………… P59       |
| ■企業立地の支援活動…………… P58             | ■障がい者のアート公募展「コラボ・アート21」…………… P59 |
| ■文化財などの電気設備点検…………… P59          | ■社会貢献活動に励む従業員を支援…………… P59        |

### Check 取組みへの評価 (取組みが向上した点/今後の課題)

- 地域のみなさまとのコミュニケーションを積極的に推進**  
2012年4月に地域エネルギー部門を設置して以降、地域のみなさまとのコミュニケーションをより積極的に推進することで、地域のみなさまとの信頼関係の構築に取り組みました。
- 地域のみなさまと連携し、地域の活性化に向けた取組みを推進**  
さまざまな地域で進められている再生可能エネルギーの開発や、スマートコミュニティ・まちづくり案件の具体化に、より一層積極的に関与してきました。今後も、これまで蓄積してきた知見の提供などを通じて、自治体をはじめとする地域のみなさまと共に構想の具体化にさらに取り組んでいきます。
- 地域社会の一員としての取組みを推進**  
地域社会のお役に立ちたいとの思いから、地域社会への貢献活動に取り組んできました。引き続き、地域のみなさまからのニーズに耳を傾け、地域のみなさまと共に取組みを進めていきます。
- 社会貢献意欲を高めるための情報発信**  
社内ウェブサイトなどを活用し、ボランティア活動に関する情報のほか、当社の社会貢献活動の情報や事例を、適宜、従業員に向けて発信してきました。今後も、従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、情報発信をおこなっていきます。

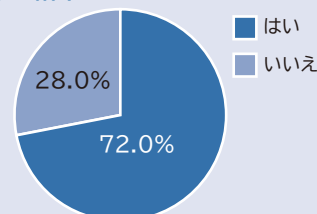
#### 地域社会への貢献活動に関して いただいた主なご意見

- 公民館の電気設備点検をしてくれたおかげで、安心して電気を使えるようになった。
- 障がいのある方々の自己表現をさまざまなかたちでサポートしたり、発表の機会を創出している「コラボ・アート21」はよい取組みだと思う。

#### 「CSRに関する全従業員アンケート」の結果 (2013年11月実施)

約7割の従業員が地域社会への貢献活動に積極的であることを確認しました。

Q.あなたは、今後、興味のあるボランティア活動があれば、参加していきたくと思いますか。



### Action 2014年度以降の方針



関西電力株式会社  
総合企画本部 副本部長  
地域エネルギー部門統括  
松村 孝夫

当社グループは、地域に根ざした事業者であり、地域のみなさまの良きパートナーとして、地域社会の活性化と発展につながる取組みを進めてきました。そして、少しずつではありますが、これらの取組みは実を結びつつあると実感しています。

今後も、「共に考え、共に未来を創る」という思いで、地域のみなさまとのコミュニケーションを一層充実させ、当社グループ全体の事業活動に対するご理解を賜ったうえで、地域社会の期待に応えていきたいと考えています。

具体的には、地域のみなさまとの対話を重ね、信頼関係を構築した上で、多様なニーズにしっかりと耳を傾け、これまで蓄積してきたさまざまな知見などを活かし、再生可能エネルギーの開発や、スマートコミュニティ、まちづくり案件などに取り組んでまいります。

また、地域貢献活動についても、地域社会の状況に心を配りながら、地域のみなさまからのご期待にお応えするために、当社グループがすべきこと、できることをよく考え、地域社会の一員として地道に取り組んでまいります。

# 地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギーに関するニーズが多様化するなか、当社はこうしたニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみなさまの良きパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」という思いを持ちながら、地域活性化に向けた取組みを進めています。

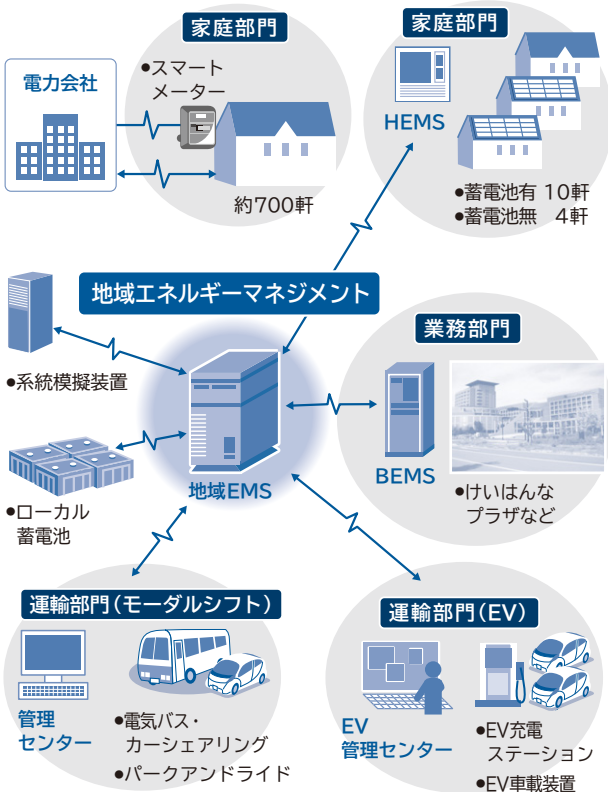
## スマートコミュニティ構想などの実現に向けて

当社は、お客さまと社会の新たな期待に応えるため、自治体などの地域のみなさまが進めるスマートコミュニティづくりや再生可能エネルギーの開発に向けた取組みなどに参加し、電気事業者として蓄積してきた知見を活かし、構想の具体化に向けたさまざまな取組みをおこなっています。

具体的には、スマートコミュニティづくりの取組みとして、京都府けいはんな学研都市における「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」に参画しているほか、経済産業省の「スマートコミュニティ構想普及支援事業」などの推進に積極的に協力しています。

### ■スマートコミュニティに関する取組み事例

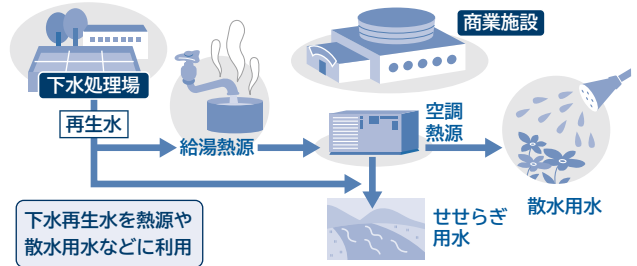
#### 「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」



また、けいはんな太陽光発電所をはじめとした再生可能エネルギーの開発や「下水処理再生水」を活用したまち

づくり構想の具体化といった取組みも進めています。

### ■「下水処理再生水」を活用したまちづくり構想



## 大阪都心部のまちづくり活動

当社は、大阪都心部などのまちづくりに、ハードとソフトの両面から貢献しています。その一つが、当社本店がある大阪・中之島での活動です。

この中之島のさらなる発展、活性化をめざし、2004年に設立されたのが、当社が事務局を務める「中之島まちみらい協議会」です。現在、同協議会では、2013年に策定した「中之島まちづくり構想」のもと、地区内の地権者企業など30社(2014年6月末現在)が、その実現に向けた取組みを進めるほか、エリア防災に関する勉強会や講演会を実施するなど、さまざまなかたちでまちづくり活動に取り組んでいます。



中之島の概観

## 企業立地の支援活動

地域の活性化と持続的発展のお役に立ちたいとの思いから、当社は自治体や経済団体と連携し、関西への立地を希望されるお客さまのサポートをおこなっています。具体的には、設備投資を検討されている全国の企業に対して、地域情報誌『Community Information』で関西の自治体の優遇制度や産業団地の情報、関西地域での立地の利点などをご紹介するほか、企業への訪問活動を通じ、関西エリアに関心をお持ちの企業を、自治体へ橋渡しする活動を続けています。

当社はグループの総力を挙げ、関西地域の成長と活性化への貢献に努めています。

スマートコミュニティ：一般的には、電気の有効利用に加え、熱や未利用エネルギーを地域単位で統合的に管理し、交通システム、市民のライフスタイルの転換などを複合的に組み合わせた社会システムのこと。

## 地域社会の一員としての取組み

地域に根ざした企業である当社は、地域社会の一員として、貢献活動に取り組んでいます。お客さまや地域社会のニーズに耳を傾け、地域のみなさまと共に取組みを進めています。

### 文化財などの電気設備点検

地域の消防署などと連携し、寺社など文化財や、公民館など災害避難指定場所の防火につなげたいと、電気設備点検を実施しています。漏電や電気配線の異常について調査し、お客さまの設備に合わせた電気の安全な使い方をお知らせしています。



▲ 災害避難指定場所である公民館（兵庫県姫路市）の電気設備点検

◀ 白山神社（大阪府守口市）の電気設備点検

### 地域のみなさまと連携した清掃活動

地域のみなさまとの活動のほか、当社の取組みである6月の「関西電力グループ環境月間」や11月の「お客さま感謝月間」を中心に、事業所周辺や観光地、海岸や河川などの清掃活動をおこなっています。



▲ 菅沼合掌集落（富山県南砺市）内の清掃

◀ 大和川クリーンアップ大作戦での清掃

### 地域の伝統文化保護・行事への協力

地域の発展や活性化の一助となるべく、地域に根ざす伝統文化や地域行事にさまざまなかたちで協力しています。



▲ 三田国際マスタースマラソンにボランティアとして参加

◀ 葵祭の行列にボランティアとして参加

### 障がい者のアート公募展「コラボ・アート21」

障がいのある方々にアート創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また、作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「コラボ・アート21」を開催しています。入選作品は展示会やホームページなどを通じて発表しています。



展示会で入選作品を発表（障害者週間協賛行事の一環として）

### 社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などの利用を推奨しています。また、ボランティア活動に関する情報や取組み事例などを社内ウェブサイトなどで紹介しています。

〈具体的な支援制度と実績〉

#### ボランティア休暇

取得実績（2013年度） 85件 209日

従業員が休暇を取得して、一定の条件を満たす社会奉仕活動をおこなった場合、年間限度日数の範囲内でその1/2ないし全部を特別休暇として認める制度。

#### ボランティア休職

認定実績 1992～2013年度で16名が取得

勤続5年以上の従業員が公的福祉機関で社会奉仕活動を長期にわたり継続しておこなう場合に、原則として1年以内の休職を認める制度。ただし、青年海外協力隊としての休職期間は2年6ヵ月。

## Voice

### 地域のみなさまのお役に立ちたい 「まほろば奈良活動隊」に参加

奈良支店では、従業員によるボランティアグループ「まほろば奈良活動隊」を2011年に立ち上げ、地域の行事を応援しています。私も奈良のことをもっと知りたいという思いから参加しています。回を重ねるごとに、多くの従業員が積極的に参加するようになり、いまでは、活動を知った行政の方から、さまざまな行事の情報が寄せられるようになりました。また、「本当に助かります」と声をかけていただき、やりがいを感じています。今後も地域の活性化のお役に立ち、喜んでいただけるよう、この活動を続けていきたいと思っています。



奈良支店 支店長室  
総務・広報グループ  
山田 美沙樹